

日本文学研究学域の主な卒業論文テーマ

文学部での学びの集大成として、先輩たちが取り組んできた卒業論文のテーマの一部をご紹介します。多様なテーマが示すように、文学部では自らの興味・関心をもとに研究テーマを決め、学びを深めていくことができます。

日本文学専攻

・ 幾原邦彦『輪るピングドラム』論 -現代社会を幸せに生きるということ-
・ 柴田翔「ロクタル管の話」論 -象徴としての「虚像」について-
・ 悪魔と無自覚 -芥川龍之介「煙草と悪魔」論-
・ 大岡昇平・初版『俘虜記』 -<いかにして自分が捕へられたか>を<精密に>語る-
・ 女学生と少女雑誌 -投稿欄における女学生の交流-
・ 浮世絵と庶民信仰 -疱瘡絵をめぐって-
・ 『古事記』天孫降臨の地 高千穂とは
・ 『枕草子』における中関白家の栄華を彩る紅梅
・ 「蟬丸」の人物像について
・ 洛中洛外図屏風研究

日本語情報学専攻

・ コーパスに基づく非外来語のカタカナ表記に関する研究
・ Twitter における「しんどい」の新用法について
・ 笑いを表現するインターネットスラングについての研究
・ 中島みゆきと松任谷由実の歌詞の文体に関する研究
・ 日本語オノマトペの名詞共起に関する研究
・ 愛知県の公共図書館の現状と課題
・ 子ども向け WebOPAC のシステム構築過程における現状と課題
・ コロナ禍における大学図書館の遠隔サービスについて
・ 出版界における版面権の評価、位置付けについて
・ 市区町村立子ども図書館・児童図書館に関する実態調査と分析

※ 日本語情報学専攻は、2020 年度に新設された専攻のため、日本文化情報学専攻の日本語学ゼミ、図書館情報学ゼミの卒業論文テーマの一部を示しています。